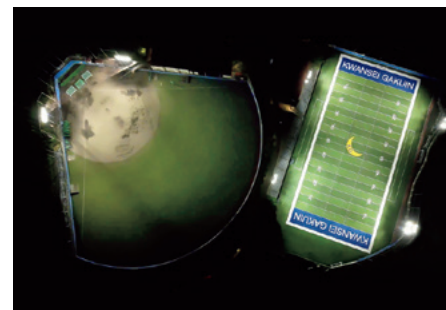


Sports Graphic 「スポーツグラフィック ナンバー」 Number Special Issue

[母校グラウンドにも導入]

“名手”近本光司が語る パナソニック LED照明の価値。

Kwansei Gakuin University Panasonic LED



関西学院大学第3フィールド

兵庫県西宮市・西宮上ヶ原キャンパス敷地内の体育施設で、多くのプロ野球選手を輩出する硬式野球部とアメリカンフットボール学生日本一史上最多を誇るファイターズのグラウンドが隣接する

が光害に当たります。
近本 野球部のグラウンドも左中間方向に住宅があって、照明を上向きにできないという話は学生の頃に聞いていました。スポーツは近隣の方の協力ができないのですから、光害を軽減するのはすごく大切なことだと思います。
鈴木 学生の頃は授業が18時過ぎまであるので、ナイター練習が当たり前でした。パナソニックインパルスもほとんどの選手が仕事をしながらアメフトをしているので、練習は仕事が終わった19時頃から始まります。インパルスのグラウンドにも「アウルビーム」を導入しており、近隣の方に配慮しながら、練習時間を確保して無事ライスポールで2連覇することができました。
内田 運動施設の夜間利用は子どもたちのスポーツでも広がっています。今や夏は酷暑が当たり前、日中は暑すぎてとてもスポーツができません。そのため、日没以降の涼しい時間に合わせて徐々にナイターにシフトしつつあるようです。
近本 照明を使う頻度が増えると、電気代の負担も気になります。
内田 その点も、LEDの「アウルビーム」

**快適な環境作りが
スポーツ界の発展に繋がる。**
近本 甲子園球場もパナソニックさんのLED照明に変わり、すごくボールが見えやすくなりました。でも、我々が利用する球場やグラウンドよりも子どもたちが使う地方の施設の方が、照明塔が建てられなかったり、光害が問題になっていたり、困っていることが多いと思うんです。しかも、照明はプレーの質を左右します。眩しくてボールが捕れないとなると自信を失っ

てしまいますよね。子どもたちがいつでもスポーツを楽しめる環境を作ることが、日本のスポーツ界全体の発展に繋がっていくと思うので、ぜひたくさんの方のサポートをお願いします。
鈴木 今日お話を聞いて、学生時代にいかんがなりました。スポーツは周りのサポートがなければできないものなので、感謝の気持ちを胸に練習に励んでほしいです。近本 関学野球部では自主性の大切さを教えてもらいました。社会に出てすぐ役に立つので感謝しています。僕たちの頃より照明を含め環境が良くなっているのので、効率良く練習をして優勝を目指してほしいです。これからも応援しています。

であれば、電気代の節約が可能です。競技場によっては従来のHIDと比べ60%（※）軽減できるケースもありますので、大幅な省エネ効果を期待できます。
近本 それはすごい。眩しさを抑えられて、光害も軽減、しかも電気代のコストも下がる。本当にいいことしかないですね。

うと思いますが、お客さまの課題に向き合っているのが私たちの使命だと考えています。スポーツに関わる方々に、少しでも快適な環境を提供できるように頑張っていきます。
最後に、関学OBのお2人からスポーツを頑張っている後輩たちへメッセージをお願いします。

グレアを抑え、より快適な照明環境を創出



大幅な光漏れを抑制し、周辺環境への配慮が可能



抱えている課題は違いますが、お客さまの課題に向き合っているのが私たちの使命だと考えています。スポーツに関わる方々に、少しでも快適な環境を提供できるように頑張っていきます。
最後に、関学OBのお2人からスポーツを頑張っている後輩たちへメッセージをお願いします。

Kwansei Gakuin University Panasonic LED

光害対策型投光器アウルビームに、新たに防眩仕様を追加しリニューアル。
フィールド外への光漏れを抑制し、眩しさを抑えたことで、より快適な照明環境を創出。



マルチハロゲン灯Sタイプ1500形相当
品番：NYS30627K LF2



マルチハロゲン灯Sタイプ1000形相当
品番：NYS30427K LF2

アウルビームER、好評発売中

アウルビームERは、パナソニック独自の光学設計技術により、選手がプレーしやすく、周辺環境にも配慮した照明環境の実現が可能。
①光漏れの抑制：競技場外の周辺環境への光漏れを大幅に抑制し、近隣住民の生活や田畑の育成を阻害しない。②グレアの低減：選手への眩しさを低減し、プレーに集中できる快適な環境を提供。③高効率化：一般HID投光器からの1：1の台数置き換えが可能。LED化のメリットを最大限に活用可能。④軽量化：従来よりも簡単に施工が可能な軽量化設計。詳細はHPにて――→



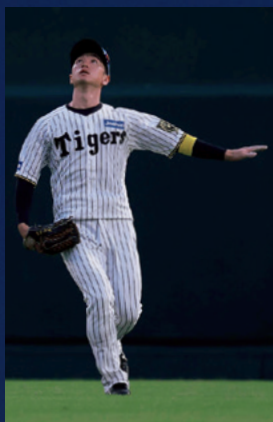
——近本選手は母校の関西学院大学（以下関学）硬式野球グラウンド来場は久しぶりとのことですが、何か違いはありますか？
近本 ホームベース後方にある青い壁を見ると帰って来たなと感じます。照明がすごく明るくなりましたか？ 昔は照明が暗くてキャッチボールも満足にできなかったのが、今はボールがはっきりと見えます。しかも、眩しくないですね。

内田 実は2021年にパナソニックのLED投光器「アウルビーム」を導入させていただき、眩しさを抑えながらも、明るさを確保できる環境を実現しています。一般的な野球場の場合、均一に光を届けるために、グラウンドを囲むように内野と外野に照明塔が設置されています。ところが関学様の野球場は内野にしか照明塔がないため、外野にも光を届けるとなると、外野手がフライを捕るときにボールが照明の光と重なりプレーに支障が出てきます。

近本 選手の立場からすると正面に近い位置から照明を照らされていると、フライが飛んできたときにすごく眩しい。プロでも照明が打球に被りやすいスタジアムがあつて、ボールを見失ってヒットになることがよくあります。

内田 照明業界では眩しさを「グレア」と言いますが、スポーツ照明では明るさを保ちながらもグレアを低減することが求められます。今回導入した「アウルビーム」はパナソニック独自の光学設計技術により、従来の投光器と比べ、明るさを確保しながら大幅にグレアを低減しています。近本 確かに以前の照明（HID）は、光が広がって大きな塊になっていたので打球が照明に入りやすかったのが、「アウルビーム」は光があまり塊になっていないですね。これはプレーしやすいです。

——同じ時期にアメリカンフットボール部



HANSHIN Tigers

の練習グラウンドにも「アウルビーム」が導入されました。パナソニック インパルスの鈴木選手は近本さんと同じ関学OBですが、在学中に照明が新しくなったそうなんです。鈴木 2年生のときに照明が「アウルビーム」に変わりました。事前に照明が新しくなることを聞かされていなくて、普段どおりに練習に行ったら、すごく明るくなつていて驚きました。しかも、眩しくない。私はワイドレシーバーというQBが投げたボールを捕るポジションなので、以前は照明がボールと重なってキャッチしにくいことがありました。「アウルビーム」になつてから明らかにそういうシーンが減つたので、照明によってプレーがしやすくなることを実感しました。

選手にも優しく 街にも優しい照明。

内田 実は関学様に「アウルビーム」を導入していただいたのには眩しさ以外にもう一つ理由があります。近本さんは「光害」という言葉をご存じですか？

近本 これまで聞いたことがないです。内田 私も照明業界に入つて初めて知ったのですが、照明器具から過剰に出ている光が周囲の環境に悪影響を及ぼすことを、光害と呼びます。例えば近隣にお住まいの方が球場の照明から漏れる光が眩しくて気になるとか、明るくて眠れないといったもの

Kwansei Gakuin University × Panasonic LED

学生時代に関西学院大学第3フィールドで汗を流した球界屈指の外野手とパナソニック インパルス・鈴木崇与。2人のOBが2021年に導入された「アウルビーム」を体感。最新の照明技術が、スポーツの未来に光を灯す。

福田剛=文 text by Tsuyoshi Fukuda
三宅史郎=写真 photographs by Shiro Miyake

「照明をLEDに変えると本当にいいことしかないですね」(近本)



近本光司
Koji Chikamoto

プロ野球選手
阪神タイガース

内田創坪
Sohei Uchida

パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 ライティング事業部
商品企画部 屋外商品企画課

鈴木崇与
Takatomo Suzuki

パナソニック インパルス
パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 ライティング事業部
SCMセンター 生産管理部 店舗商品課